

Y M C A 通 関 士 合 格 体 験 記

2020 年版

- ▶ 横浜 Y M C A の通関士受験講座は今年で開講 20 年を迎えます。これまでに 625 名の受講生を数え、101 名の方が合格の栄冠を勝ち得ておられます。
- ▶ 昨年の合格率 12.5% の難関を 2 度目の挑戦で突破した主婦の受験奮闘記、一昨年の 12.4% を入社初年度・初回受験で見事合格を果たした台湾出身の若い女性の一発合格の秘訣をお届けします。
- ▶ 横浜 Y M C A は今年も受験生を全力で応援します。

早めの対策と

地道な勉強が合格の秘訣

主婦（元商社勤務）

女性・38 歳

2019 年度合格

合格発表の日、官報で自分の名前を確認して「やっと合格できた！」という安堵感と嬉しさでいっぱいになりました。というのも、通関士試験は二回目の挑戦だったからです。

自分なりに頑張ったと思い、挑んだ前年度は、残念ながら不合格になりました。通関士の勉強はそれなりの気力が必要だったので、今年度も挑戦をするか迷っていたのですが、ちょうどその時に、通関士試験に合格を

された方の話を聞く機会があり、そこで今までの勉強がいかに足りていなかったかを気づかされ、前年度に勉強した内容を少しでも覚えていこうと、私もまた頑張ってみようと思いました。

そして必ず合格するためには川名先生の通関士講座をもう一度受講しようと決意したのが、二年目の始まりでした。

私が、通関士の資格を取ろうと思ったきっかけは、以前、商社で輸入事務をしており、その後、一度離れて別業界で働いていたのですが、これまでを客観的に振り返って、専門的な知識を持つことは今後、必ず自分の強みになると思ったからです。

通関士試験対策二年目は前年度の反省を生かし、予めスケジ

ュールを立てることに重点を置きました。試験は大きく分けて①通関業法、②関税法等、③通関実務という三つの項目に分かれ、覚えることが多岐に渡るのそれぞれ期限を決めて勉強をすることがとても重要です。

まず、①通関業法、②関税法等の内容は八月上旬までに、問題集の問題の意図を完全に理解することを心掛け、私が最も苦手とする③通関実務の輸出・輸入申告書問題は、六月から毎日一問は解くことを心掛けました。スケジュール通りにはいかないこともありましたが、その時は別の日に調整をすることでカバーしました。

そして、八月上旬以降は過去問や弱点箇所の強化に時間を当

て、授業で使用するテキスト以外に、計算ドリル等を三冊購入して勉強していました。

また、毎週の授業後はその日のうちに復習を欠かすことなく続けました。復習は、授業で使ったプリントを確認しながら内容を思い出し、次に、対応しているテキストの箇所を読み理解を深め、巻末にあるチェック問題を解き、過去問集に移って解くという流れです。

毎日地道な作業の繰り返しで、とても根気がいりますが、どの項目も過去問を繰り返していくうちに、はっきりと理解ができて瞬間が訪れます。理解できていると実感すると、それが自信につながりました。

勉強のモチベーションを保つのは大変ですが、週一回、YMC Aに通うことが私にとっての大きなモチベーション維持になっていたと思います。通関士試験に熟知されている川名先生の授業を受け、受講生の方々と同じ空間にしていると、皆さんも頑張っているから私も頑張らなければとやる気が出ました。

今年度は必ず合格することを目標に、私の場合は途中から仕事を中断して、家族の協力のもと、ひたすら勉強に専念することができましたが、受講生の皆さんは仕事や環境などの状況が異なると思います。それぞれの状況にあった早めの対策と地道な勉強が合格の秘訣だと思います

す。今振り返ってみると、結局は問題をたくさん解いて、忘れないうように定着をさせるということに尽きるのだなと思うからです。

最後に、二年間授業に参加した私を、気にかけて声をかけて下さっていた川名先生に心から感謝しています。YMC Aの通関士講座で川名先生に出会えて本当に良かったと思いました。

これから通関士の資格を取ろうと思っている皆さんは既に大きな一歩を踏み出しているのです、このまま更に一歩ずつ進んでいくって欲しいと思います。前進あるのみです！

外国人が初回受験で合格する秘訣

通関業者 勤務

女性・29歳

2018年度合格

新入社員、受験を決意する

私は2018年4月、日本の物流・通関会社に就職しました。台湾から来日し、横浜YMC A学院専門学校で簿記を習った川名先生に卒業記念の食事会でたまたま自分の職場についてお話ししたら、「通関士の資格があるかどうかは、この業界で天と地の差ですよ」と言われました。日本に来てちょうど2年が経ち、日本語も上手とは言えないし、もちろん



貿易に関しては何もわからなかったその時の私にとって、先生の一言が通関士試験を受けるきっかけになりました。

日本語のハンディを

乗り越える

横浜 Y M C A の通関士講座の講師も長年担当しておられる川名先生の講座を、受け始めた当初はかなり苦勞しました。何しろ通関士試験は難しいと周囲からもよく言われました。ましてや日本語もまだ充分ではない私ですから、普通の受験生以上の努力をしなければ合格はありえないということは最初から感じていました。しかし、せっかく講座を受けるからには、自分に

とってはどんなに高い壁であっても、乗り越えるようにチャレンジしたいのが正直な思いでした。

こんな思いで受験勉強を開始することになりましたが、チャレンジ精神だけでは不足です。この試験はラッキーで受かるはずもなく、ほんとうに合格したいと思うなら、結果として自分の実力が難しい試験の合格水準を超えなければお話にならないという冷静な意識もありました。そう思って、目標と計画を立てました。

時間と精力の無駄遣いは

危険だ

とにかく勉強しなければなら

ないのは当たり前ですが、方向不明な勉強は時間と精力の無駄で危ないと思いました。そこで勉強を始める前に、会社の先輩に色々な方法やコツなどの経験談を教えていただき、ネット上の合格体験記もちよこちよこと読んでみました。

すると、合格には最低限30時間の勉強が必要だったとか、参考書を何冊使ったのとか、本試験前2ヶ月どこまで進んでいべきなのとか、さまざまなることが分かってきました。そこで具体的なアドバイスをメモし、その上で自分なりの計画を立て、初めて本格的な勉強が始まりました。

まず授業内容を

しっかり覚え込むことだ

基本的には、毎週の授業で先生から教わった内容をまずはしっかり覚え込むことです。これは先生の示した授業のペースを守って進んでいきます。そのためには自分の勉強時間の確保が何より大切です。週1回3時間の授業内容の量から、それからの一週間で復習に充てるべき時間を割り出します。忙しい毎日の中で、いかにして時間をうまく使うかが合格の鍵だと思います。気持ちを切らさないことも大事です。この業界で長く勤めている先輩たちや、すでに合格して通関士としてばりばり働いている先輩たちのようになりたい

なら、他人の何倍もの努力が必要だと常に自分に言い聞かせました。

会社の先輩には、通関実務の過去問題を少なくとも1日1問くらいは解いた方がいいと言われたので、1日数問を解きました。時々夢中になって半冊まで進んでしまったときもありました。

毎日2時間、休日は丸一日勉強した

基本的に、毎日2時間を捻出して勉強しました。通勤の往復1時間も貴重で、電車の中でも寸暇を惜しんで勉強しました。休日は丸一日勉強です。参考書は9冊使っていました。こうや

って6ヶ月がたち、とうとう合格することができました。

6ヶ月間は正直言って辛かったです。今振り返ってみると、実は簡単なことを繰り返すだけだったのではないだろうかとも思えます。合格して、周りから「すごい！」という褒め言葉が飛び込んできましたが、私は決してすごい人なんかではなく、ただ諦めずに最後まで簡単なことを繰り返すだけだったということです。自分は自分で一番よく分かっています。

一見単純な作業を確実に実行したのが勝因です

受験指導の経験豊富な先生を信じて、新しい知識を学んだら

記憶に残るように勉強し、過去問を解くことを通じて確実に身につけていく。もし現在何かの試験を目指しているのならば、この一見単純な作業を確実に実行することです。自分の能力やレベルに相応しい計画を立て、最後まで諦めないで頑張ればきっと合格できると思います。

人生に一回、自分の限界まで試し、その結果最初に掲げた目標を達成し、自分の壁を乗り越えられることほど嬉しいことはありません。今後も、もっと難しいチャレンジを試してみたいです！



お問合せ先

横浜中央YMC A
生涯学習部

045-641-5785

横浜市中区常盤町 1-7

横浜 YMC A 通関士

検索